

2021 年度第 2 回（通算第 109 回）

山口国際文化化学研究会

- 研究倫理・研究方法について考える
- 発表者 吉村耕一（健康福祉学研究科長）・岩野雅子（国際文化化学研究科長）

国際文化化学研究科修士課程 2 年生

本学の教員ならびに大学院生は、日本学術振興会の研究倫理 e ラーニングコースを受講しています。『科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－』をもとにした研究倫理教育として公開されているこの e ラーニング教材は、

- ・「人文学・社会科学から自然科学までのすべての分野の研究に関わる者が、どのようにして科学研究を進め、科学者コミュニティや社会に対して成果を発信していくのかといったことについて、エッセンスになると思われる事柄を整理しまとめたもの」であり、
- ・「研究を進めるにあたって知っておかなければならないことや、倫理綱領や行動規範、成果の発表方法、研究費の適切な使用など、科学者としての心得が示されている」

とされています。（*日本学術振興会のウェブサイトより引用：<https://elcore.jsps.go.jp/top.aspx>）

今回は、研究倫理の基本的な考え方について大学院長・生命倫理委員会委員長の吉村先生から要点を聞き、昨年度にこの e ラーニングと「国際文化化学研究法」を受講した M2 生からそれぞれ自ら大切にしていることについて報告を受けます。研究方法の全体像についても確認し、また、M1 生と M2 生の院生研究交流の機会とします。

- 日 時 2021 年 6 月 23 日（水曜日）16 時 20 分より
- 場 所 北キャンパス B204 教室
- 主 催 山口県立大学大学院国際文化化学研究科

（一般参加可）